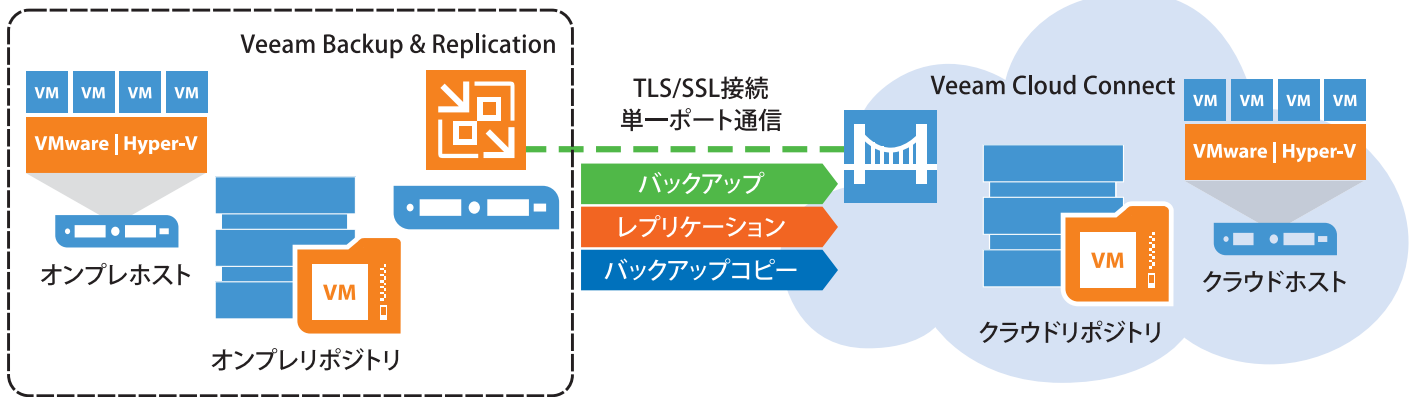


オンプレとクラウドのVeeamをつなぐ

Veeam Cloud Connect

VPNなしで簡単、安全に接続

- ・ オンプレと同様にクラウドインフラを活用
- ・ バックアップ用のストレージ
- ・ DR用のクラウドホスト(レプリケーション)
- ・ サイト全体、部分のフェイルオーバー対応
- ・ 単一ポートでクラウドインフラと通信
- ・ TLS/SSLで暗号化し安全アクセス
- ・ 転送量削減、WAN高速化に対応
- ・ オンプレのネットワークをクラウドに拡張

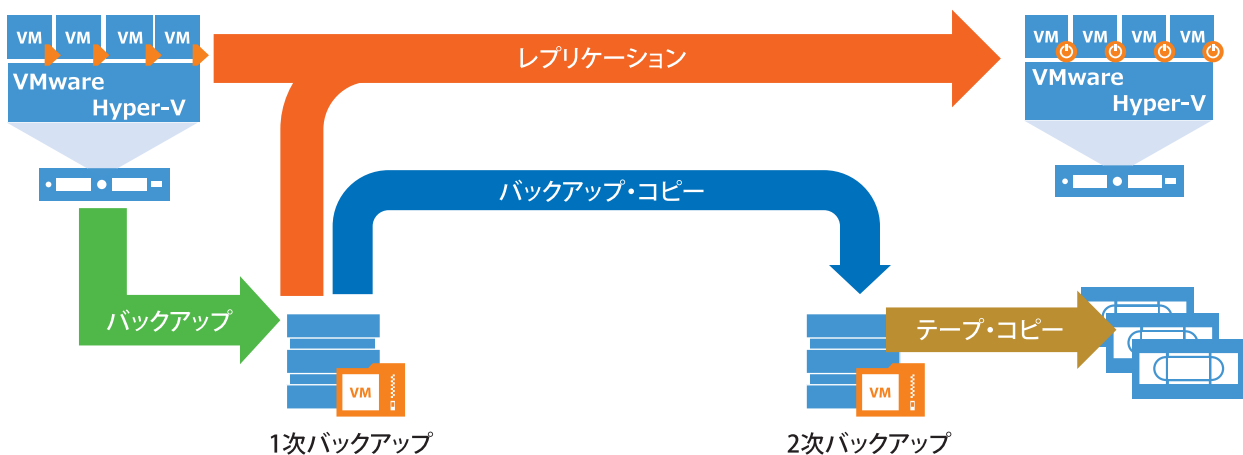


オンプレ仮想環境に確実なデータ保護を

Veeam Backup & Replication

エージェントレスで手間なく、柔軟に

- ・ バックアップとレプリケーション2 in 1、2次バックアップやテープにも対応
- ・ Microsoft VSSでの静止点作成をVeeamで独自サポート
- ・ エージェントレスで簡単に、分散アーキテクチャで柔軟に構成可能
- ・ VMware vSphere、Microsoft Hyper-V対応、vCloud Directorもサポート
- ・ 変更ブロック追跡で常に増分を転送
- ・ ストレージスナップショット連携
- ・ 組み込みの重複排除/圧縮/暗号化
- ・ 重複排除アプライアンス統合



Veeam Cloud Connect

VPNなしで災害対策を! DRaaSを簡単に提供可能

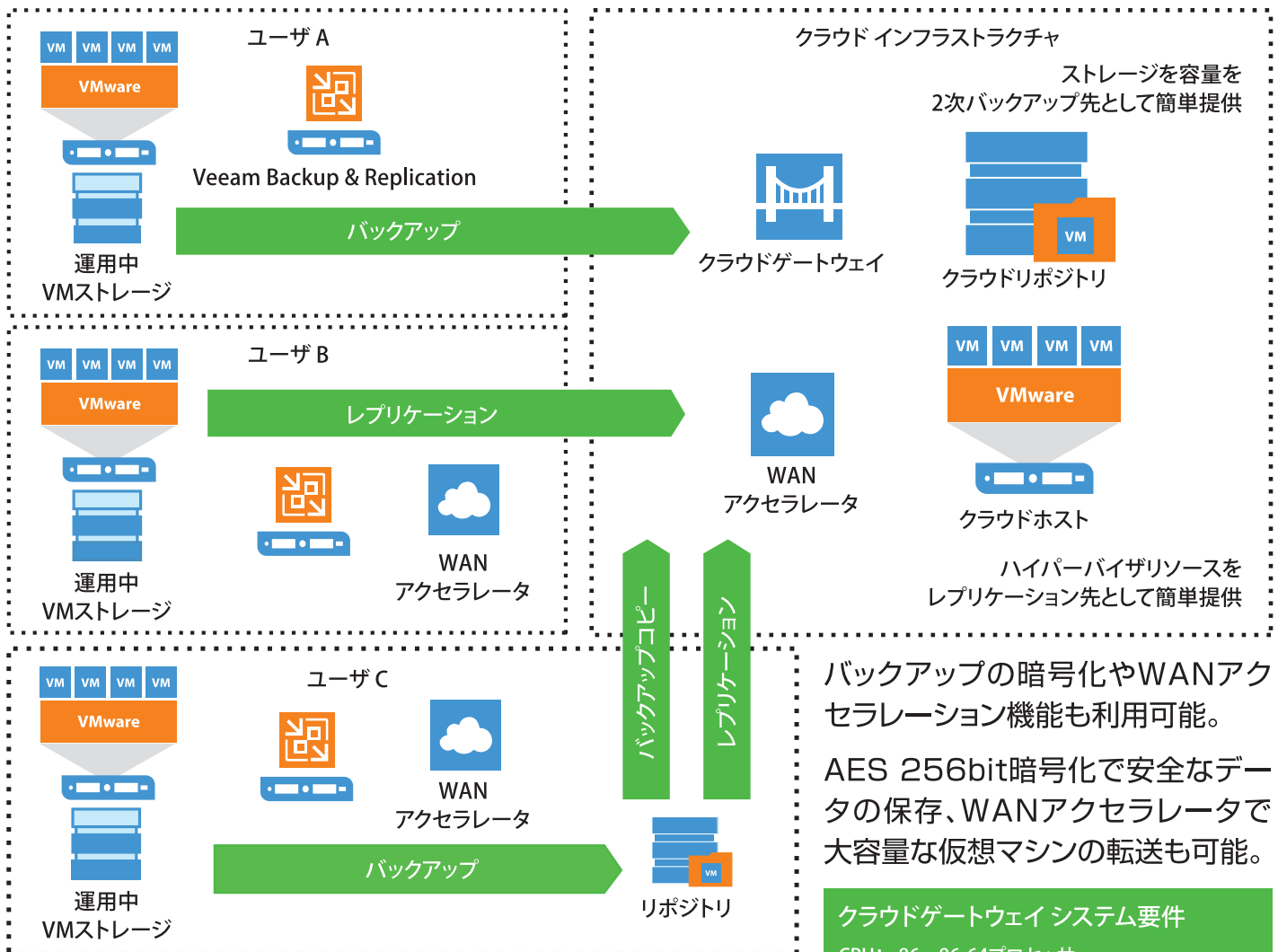
Veeam Cloud Connectはオンプレ環境のVeeam Backup & Replicationとサービスプロバイダの環境間やエンタープライズ企業の地方拠点と本拠点間をVPNなしで簡単に接続し、ストレージやハイパーバイザリソースを簡単に利用できるソリューションです。

接続先となるクラウドインフラストラクチャではクラウドゲートウェイを設定し、接続アカウントを作成することでユーザーにSSL/TLS接続を介した単一ポートでの通信を提供でき、各アカウントごとに利用する容量やハイパーバイザリソースを管理できます。

また、各ユーザーはそのアカウントでクラウドインフラストラクチャを登録することで、通常のVeeam Backup & Replicationのリポジトリ(保存先)やレプリケーション先のホストと同様にクラウドインフラストラクチャのリソースを災害対策のために利用可能です。

さらにレプリケーションされた一部のVMのみをフェイルオーバーする場合、Veeamのネットワーク拡張アプライнсにより、オンプレのネットワークをカプセル化し、クラウドインフラストラクチャに接続、オンプレで稼働するVMとクラウドインフラストラクチャで稼働するVMを同一ネットワークに接続できます。

クラウドインフラストラクチャへの接続はVPNなし。
安全で信頼性の高いSSL/TLS接続を介した単一ポートへの簡単な転送。



ユーザーはIDとパスワードでクラウドインフラをVeeamに登録し、通常のVeeamの保存先やレプリケーション先として利用可能。操作に変更なく、簡単にクラウドインフラのリソースを活用。